



第6回

災害時の要援護者に対する支援セミナー

～東北から神戸に～

平成29年

日時 **2月12日** 日
13時30分～17時 (受付開始13時)

会場 **ラッセホール** 5階 サンフラワー
兵庫県神戸市中央区中山手通4-10-8
電話 (078) 291-1117

大規模災害時に人々は様々な危機に直面します。重い障害のある方の場合、家族だけで支援することは不可能です。避難方法の確保、医療的なケア、障害に応じた食事や医療用品の確保、精神的な動揺への対応など多くの困難を乗り越えなくてはなりません。

本セミナーは、「東北大学等との連携による震災復興支援災害科学研究推進活動」並びに「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の一環として、神戸大学、東北大学、そして宮城教育大学などの災害を経験した大学が、自治体やNPOと協力して行うもので、阪神・淡路大震災、東日本大震災の経験に基づき、専門領域を超えて現実に即した支援法を考えようとするものです。日本での経験知をまとめ、環太平洋地域に広がる海外の被災地・大学とも手をつなぎたいと考えています。

① 前半 (13:30～15:10)

司会 中井 靖 (宮城大学教育学部 准教授)

・大規模災害と障害のある子ども — 避難する場所はどこか —

神戸大学大学院保健学研究科 教授 高田 哲

・地域とともに — 災害時への備え —

神戸市立友生支援学校 校長 竹内 寛子

・大震災後のこどもと教育 ～防災教育の現状～

宮城教育大学教育学部 教授 菅井 裕行
宮城教育大学附属特別支援学校 教諭 浅野 昭義

・熊本地震で発達障がいの特性を持つ子ども達にしたこと、すべきだったこと

熊本市子ども発達支援センター 所長 木村 重美

休憩 (10分間)

② 後半 (15:20～16:20)

司会 小寺さやか (神戸大学大学院保健学研究科 准教授)

・つなみって、なに色? ～岩手県大槌町でのポーホキ友情物語活動をふりかえる～

神戸大学大学院国際協力研究科 教授 □ニー アレキサンダー

・災害時の女性支援者のストレスとその対策

甲南女子大学看護リハビリテーション学部 准教授 瀬藤乃理子

③ 総合討論 (演者全員)

座長 和泉比佐子 (神戸大学大学院保健学研究科 教授)

滝口 哲也 (神戸大学都市安全研究センター 准教授)

セミナーに関するお問い合わせ先

神戸大学大学院保健学研究科 高田哲研究室

電話/FAX (078) 796-4515

後援 神戸市、神戸市教育委員会、神戸市社会福祉協議会、
神戸大学都市安全研究センター

参加費
無料

〈ラッセホール アクセス〉

神戸市営地下鉄西神・山手線：県庁前(兵庫県)駅 徒歩5分 JR東海道線：元町(兵庫県)駅 徒歩8分

JR東海道線：三ノ宮駅 徒歩15分

